

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18037	2	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	公衆衛生学 (Public Health)				
担当教員名	大道 公秀				
授業の概要及び到達目標					
<p>○概要～公衆衛生の理念と目的、集団における健康問題に関する予防医学、社会医学の役割と実際について学修する。授業内容には我が国の保健統計指標の動向や意義、疾病予防、健康の保持増進、健康管理、産業保健、環境衛生に関する事項のほか、食品衛生や感染症の予防など衛生学の基礎知識に関する内容も含む。また環境と生活の健康の視点から環境汚染とその対策や産業中毒と職業性疾患とその対策などを取り上げる。</p> <p>○到達目標～感染症等疾病克服の歴史、疾病構造の変化、現在用いられる代表的衛生性指標の理解をすること。生活習慣病の現況、学校保健、環境保健、産業保健、健康管理等の施策や現況を理解する。</p>					
準備学習等					
<p>1 回目授業：テキスト第 1 章をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>2 回目授業：テキスト第 6 章をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>3 回目授業：テキスト第 6 章を参考にしながら、「環境」と「環境問題」の関連をあらかじめ整理しておくこと。</p> <p>4 回目授業：テキスト第 2 章をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>5 回目授業：テキスト第 2 章にある疾傷統計やその他の統計についても確認しておくこと。</p> <p>6 回目授業：テキスト第 3 章・第 4 章をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>7 回目授業：テキスト第 4 章の健康管理の項目をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>8 回目授業：テキスト第 5 章を参考にしながら、喫煙・飲酒・睡眠、休養、ストレスに関する現代社会の課題を整理しておくこと。</p> <p>9 回目授業：テキスト第 5 章を参考にしながら、がん・循環器疾患・代謝疾患・骨・関節疾患・歯科疾患に関する現況を整理しておくこと。</p> <p>1 0 回目授業：テキスト第 5 章の感染症の項目をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>1 1 回目授業：テキスト第 1 2 章をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>1 2 回目授業：テキスト第 1 4 章をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>1 3 回目授業：テキスト第 7 章・第 8 章・第 1 1 章をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>1 4 回目授業：テキスト第 9 章・第 1 0 章・第 1 3 章をあらかじめ読んでおくこと。</p> <p>1 5 回目授業：テキストで扱わなかった項目を読むこと。また 1 4 回目までの内容を復習しておくこと。</p>					
各授業、予習・復習に 4 時間以上が必要な時間である。					
成績評価の方法	授業の参加度 10%, 定期試験 90%				

テキスト	・「シンプル衛生公衆衛生学 2019」(南江堂)
参考図書	・「国民衛生の動向 2019/2020」(厚生労働統計協会) ・「図説 国民衛生の動向 2018/2019」(厚生労働統計協会) ・「過去・現在・未来の視点で読み解く食品衛生入門、大道公秀 (近代科学社 DIGITAL) ISBN 978-4-7649-6000-8 参考図書は最新の出版物を用いること。 その他、適宜授業の中で紹介していく。
備考	○学生へのメッセージ；主に「医療のコラボレーション教育分野」について復習しておくこと。 ○オフィスアワー；授業日の5時間目

授 業 計 画

- 第 1 回 公衆衛生とは
 第 2 回 健康と環境① (生態系・環境汚染)
 第 3 回 健康と環境② (環境衛生)
 第 4 回 健康、疾病、行動にかかわる統計資料①
 (保健統計・人口静態統計・人口動態統計・生命表)
 第 5 回 健康、疾病、行動にかかわる統計資料② (傷病統計・その他保健統計)
 第 6 回 健康状態・疾病の測定と評価
 第 7 回 生活習慣の現状と対策① (健康に関連する行動と社会・身体活動・運動)
 第 8 回 生活習慣の現状と対策② (喫煙・飲酒・睡眠、休養、ストレス)
 第 9 回 主要疾患の疫学と予防対策①
 (がん・循環器疾患・代謝疾患・骨・関節疾患・歯科保健)
 第 10 回 主要疾患の疫学と予防対策② (感染症)
 第 11 回 主要疾患の疫学と予防対策③ (精神疾患・その他)
 第 12 回 保健・医療・福祉の制度① (社会保障・行政・医療制度・福祉制度)
 第 13 回 保健・医療・福祉の制度② (地域保健・母子保健・成人保健・高齢者保健・介護)
 第 14 回 保健・医療・福祉の制度③ (産業保健・学校保健・国際保健)
 第 15 回 まとめ

*授業の進捗度・理解度等により変更する場合もある。外部講師を招へいする場合もある。